



元気いっぱい、笑顔いっぱい、活力みなぎる 朝二の子

朝霞第二小だより



【学校教育目標】 進んで学習する子(知) 仲良く助け合う子(徳) 健康で明るい子(体)

〒351-0007 朝霞市岡3丁目16番13号 TEL 048-461-0042 FAX 048-467-4735

E-mail 2shou@asaka-c.ed.jp ホームページ <http://www.asakadai2shou.city-asaka.ed.jp>

令和3年6月1日(6月号) 児童数 718名 (5/28現在)

五月の教育活動から

- 子供達の学びの充実を -

校長 谷井 喜信

紫陽花が色づく季節となりました。新学期から2ヶ月が過ぎ、昨年度は実施できなかった新体力テストを終えることができました。子供達は体育の授業はもちろん運動することが大好きです。「たくましさは体力づくりから」と言われます。頑張る力や集中する力、やり遂げる力や我慢する力も健康で過ごせることが基盤となります。コロナ禍で子供達の体力低下が心配されていますが、「コツコツと鍛えた体は宝物」を合言葉に、しっかりと体力を付け、健康で明るい子に育ててほしいと思っています。



【新体力テスト】



【杉田氏による講演】

さて、今年度から特別活動(学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事)を窓口として、『自分の考えをもち、主体的に活動する児童を育てる』研究に取り組み始めました。研究のスタートに当たり、前文部科学省視学官で現在は國學院大學人間開発学部初等教育学科教授の杉田 洋氏にご講演をいただきました。特別活動は人間関係形成・社会参画・自己実現を視点に、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら課題を解決し、自己の生き方について考えを深め自己実現を図ろうとする

態度を養います。Society5.0といわれるAIやロボットが進化した社会に生きる子供達。今、経済界で注目されている学力が、「コミュニケーション力」「やりぬく力」「創造力」「批判的思考」「協働性」といった点数として表れない力です。このような力は非認知的能力(社会情動的スキル)といわれています。いわゆる、知識や技能を生かして、いかにによりよい社会を創造し、よりよく生きていくかといった力です。これは決して一人で机の前に座って学び取れる力ではありません。多様な考えや価値観を持った人たちと一緒に考えて考えを出し合い、協働して課題を解決する中で培っていきける力です。特別活動の学びを通して、生活の中にある課題を各教科等で獲得した力を生かし、多様な考えを持った友達と話し合い、合意形成を図りながら解決策を決め、実践していく力を高めてまいります。

6月1日、いよいよ全児童にタブレット端末(iPad)を貸し出します。お待たせいたしました。本校にとって歴史に残る記念すべき日になります。この日に向けて、使用規定の作成をはじめ、ラベリングや児童名シール・紙クリップの添付、ネットワークの設定などの準備を進めてきました。活用方法に係る研修会も随時行ってまいりました。本日の『iPad学習開き』では、①iPadでできそうなこと、やってみいたいこと ②「朝霞市タブレット端末を使うための12の約束」 ③iPadの配付 ④基本的な操作の仕方



【iPad活用研修会】

⑤写真や動画の撮影の仕方などについて、使い方のしおりをもとに学習します。保護者の皆様には、以前に「朝霞市GIGAスクール構想に係るタブレット端末の取扱い規定」をお配りしました。新たに「朝霞第二小学校タブレット使用のルール」をご確認いただき、本日の学習の様子などをお子様から聞くなどして、ワクワク感を一層高め、学びがより充実するようにご協力をお願いいたします。家庭への持ち帰りについては、子供達の学習状況等をみながら検討し、ご連絡させていただきます。

まん延防止等重点措置の実施期間が再延長されました。国立感染症研究所によれば、変異株への対策としては、従来株と同様に、「3つの密」(特にリスクの高い5つの場面)の回避、マスクの着用、手洗いなどの基本的な感染症対策が推奨されています。学校ではこれまで以上に危機意識を持って、学習内容や活動内容を工夫しながら授業や各種行事等の教育活動を継続し、子供の豊かな学びを保障してまいりたいと考えています。引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。